



国民の声を聞かない岸田政権

国会が3日に始まりました。国民の6割の反対を無視して強行した安倍元首相の国葬は岸田政権が聞く力も、ていねいな説明もしない強権政治という意味でも安倍政治と変わらないことを物語っています。

統一協会との癒着の徹底究明は今国会の焦点です。

- ①統一協会が反社会的な団体だということをはっきりさせ
- ②自民党の多くの政治家が利用され被害拡大に手を貸したことを反省し
- ③しっかりと癒着を絶つ

事を求めます。

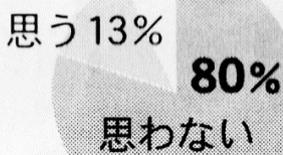
ジェンダー平等にも背を向け、昔ながらの家父長的なイエ制度を基盤に置く家族感が統一協会の特徴ですが、地方議会の条例制定にも教育委員会の方針にも深く関与していることがわかってきています。歴史を後ろにひっぱる役割もしているのです。

暮らしと経済 立てなおす 抜本的対策

- 中小企業の賃上げへの直接支援の強化など実効ある賃上げ政策
- 消費税5%減税
- 高齢者への医療費負担増の撤回
- 新型コロナから命を守るための医療供給体制の抜本強化

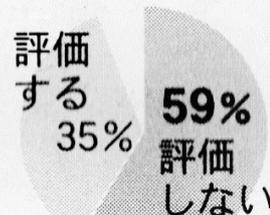
今国会で、日本共産党は、今の物価高騰から暮らしを守るため、破綻している経済政策の転換を求めています。

統一協会問題で岸田首相は指導力を発揮しているか



「読売」3日付

安倍元首相の「国葬」実施



「朝日」3日付

原子力村の復活「原発の増設」は誰のため？

原発の増設検討を突然表明した岸田首相。方針転換の裏には財界・経産省の策動がありました。海外に原発輸出を考えていた原発メーカーのプロジェクトは、コストが高く実用化の保証のない原発でも「こうやって言っていれば予算がつく」という構造です。福島事故処理もままならない中、原発の延命に躍起になるほど、逆に再生エネルギーの普及、気候変動対策はおろそかになります。



アゲハ蝶の幼虫。羽化できますように！

全数把握もなくなったコロナ感染

市内の感染状況も通知されなくなりました。専門機関も含めて状況がつかめなくなったという指摘もあります。感染が収束したわけではなく今後が見通せません。感染も減少気味ですが秋祭りも開催された連休後がどうなるのか不安です。私は今年はお祭りの参加を見送りました。

いま話題の

国葬、統一協会
鋭く追及

スクープ
連発で注目

暮らしに役立つ
情報も満載

「しんぶん赤旗」日曜版 無料お試しキャンペーン

「しんぶん赤旗」日曜版を3週間（3回分）続けて無料でお配りします。

お試し後もぜひお読みください | 1カ月930円

お知り合いの党員、
又は勝川まで

日本共産党本部申し込みページ
https://ssl.akahata.jp/akahata_mihon.html

